

上組 「伊勢音頭」の歌詞

ここに示す歌詞は、調査の際に「得意な歌」「グループ独自の歌」「雰囲気を考えて歌う歌」などと依頼して、歌われた歌の歌詞である。

『伊勢音頭調査報告書』の中の「御坊祭の〈伊勢音頭〉」（以下、「報告書本文」）では、歌われた歌詞の「歌い出し」を記すことで表7にまとめ、歌詞の概観を行った。表7では、歌のふしの種類によって、「短い歌」「長い歌（紀小竹組にのみ「ながうた」という独自の呼び名がある）」「つなぎ歌（引き継ぎ歌、受け取り歌）」をまとめて示したが、ここでは、収録の際の歌われた順に示している。（歌のふしの種類については、「報告書本文Ⅱの表3」参照）。

なお、表記は、歌詞は黒字で、囃しことばは、音頭取りを赤字で、乗り子を青字で行っている。

歌詞のみ（囃し無）

◎歌い手（昭和29年生）

短い歌：いたら見てこい 名古屋の城 金の鯨 雨ざらし

長い歌：御坊名所は 数々あれど 先ずは御坊に始まりて 煙樹ヶ浜を右に見て 磯で
良いのは元の脇 アメリカムードは三尾村で そのまた向こうは日の岬 安珍
清姫 日高川

短い歌：来いというたとて いけるか佐渡へ 佐渡は四十九里 波の上

長い歌：火事と喧嘩は お江戸の華だ ……火消しのある中で 野狐三次は纏持ち 背
（せな）に白狐の入れ墨を 入れた入れ墨 伊達じゃない

つなぎ歌：僕の音頭は これにておわり あとはご先生（せんせ）に まかせます

◎歌い手（昭和44年生）

短い歌：紀州秋晴れ 日和も続き 蜜柑味頃 お嫁入り

短い歌：恵比須大黒 お船に乗って 大鯛小鯛を 釣り上げる

長い歌：わたし魚屋で いろいろあれど 一に大鯛二に小鯛 三にさごしかしびのうお
五ついかなご六つ（ムツ）などや 七つないなぎ八つかます 九つこのしろ 飛
びの魚

短い歌：破れ障子に 鶯留まる 寒さこらえて 春を待つ

短い歌：上（かみ）の若い衆 ねばそじゃないか 年に一度の 秋祭り

短い歌：押せよ押せ押せ 今宵が限り あすの晩から 籠の鳥

歌詞（囃し有）

◎歌い手（昭和 29 年生）

ヨーイヤッサイ

ソラヤートコセ エエヨーイヤナ ソリヤ

ハリバンヨーイ コレバンヨイ

ソラヨーイートセ

サーヨーイいたら見てこいヨ ヨイヨイ エー名古屋のヨー城ヨ サーヨーイセーコ
ラセ ソーリヤ金の鯨ヨーイソレ 雨ざらしヨ ソラヤートコセ エエヨーイヤナ
ソリヤ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイ御坊名所はヨ ヨイヨイ エー数々あれどヨ サーヨーイセーコラセ ソ
ーリヤ先ずは御坊に始まりて ソーレ 煙樹ヶ浜を右に見て ソーレ 磯で良いのは元
の脇 ソーレ アメリカムードは三尾村で ソーレ そのまた向こうは日の岬 ソーレ
安珍清姫ヨーイソーレ 日高川ヨ ソラヤートコセ エエヨーイヤナ ソリヤ ハリ
バンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイ来いというたとてヨ ヨイヨイ エーいけるかヨー佐渡へヨ サーヨーイセ
ーコラセ ソーリヤ佐渡は四十九里ヨーイソレ 波の上ヨ ソラヤートコセ エエヨ
ーイヤナ ソリヤ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイ火事と喧嘩はヨ ヨイヨイ エーお江戸のヨー華だヨ サーヨーイセーコ
ラセ ソーリヤ・・・火消しのある中で ソーレ 野狐三次は纏持ち ソーレ 背（せ
な）に白狐の入れ墨を ソーレ 入れたナエ入れ墨ヨーイソーレ 伊達じゃないヨ
ソラヤートコセ エエヨーイヤナ ソリヤ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨ
ーイートセ

サーヨーイ僕の音頭はヨ ヨイヨイ エーこれにてヨーおわりヨ サーヨーイセーコ
ラセ ソーリヤあとはご先生（せんせ）にヨーイソーレ まかせますヨ ソラヤートコ
セ エエヨーイヤナ ソリヤ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

◎歌い手（昭和 44 年生）

サーヨーイサーエ紀州秋晴れヨ ヨイヨイ 日和も続きヨ サーヨーイセーコラセ
ソーリヤ蜜柑味頃ヨーイソレ お嫁入りヨ ソラヤートコセ エエヨーイヤナ ソリ
ヤ ハリバンヨーイ ソリヤ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイサーエ恵比須大黒ヨ ヨイヨイ お船に乗ってヨ サーヨーイセーコラセ
ソーリヤ大鯛小鯛をヨーイソレ 釣り上げるヨ ソラヤートコセ エエヨーイヤナ

ソリャ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイトセ

サーヨーイサーエわたし魚屋で ヨイヨイ いろいろあれどヨ サーヨーイセーコラセ
ソーレーに大鯛二に小鯛 ソーレ 三にさごしかしびのうお ソーレ 五ついかなご六
つ（ムツ）などや ソーレ 七つないなぎ八つかます ソーレ 九つナーエこのしろヨ
ーイソレ 飛びの魚ヨ ソラヤートコセ エエヨーイヤナ ソリャ ハリバンヨーイ
コレバンヨイ ソラヨーイトセ

サーヨーイサーエ破れ障子にヨ ヨイヨイ 鶯留まるヨ サーヨーイセーコラセ ソ
ーリャ寒さこらえてヨーイソレ 春を待つヨ ソラヤートコセ エエヨーイヤナ ソ
リャ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイトセ

サーヨーイサーエ上（かみ）の若い衆ヨ ヨイヨイ ねばそじゃないかヨ サーヨーイ
セーコラセ ソーリャ年に一度のヨーイソレ 秋祭りヨ ソラヤートコセ エエヨー
イヤナ ソリャ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイトセ

サーヨーイサーエ押せよ押せ押せ ヨイヨイ 今宵が限りヨ サーヨーイセーコラセ
ソーリャあすの晩からヨーイソレ 籠の鳥ヨ ソラヤートコセ エエヨーイヤナ ソ
リャ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイトセ